

様式第1 (第3条関係)

(表)

簡易専用水道設置届

年 月 日

(宛先) 小牧市長

(届出者) 住 所.....

氏 名.....

〔 法人にあつては、その主たる事務所の
所在地、名称及び代表者氏名 〕

電話番号.....

簡易専用水道を設置しましたので次のとおり届出をします。

建 物	名称		設置年月日	年 月 日	
	所在地	(電話番号)	主用途		
設 置 者 (所有者)	住所 氏名	(電話番号)			
管 理 者	住所 氏名	(電話番号)			
建 物 構 造	地上 階、地下 階、延べ面積 立方メートル				
給 水 設 備		設置場所	設置状態	水槽の数、 容量 (立方メートル)	材質
	受 水 槽				
	高 置 水 槽				
給水管の材質	鉄、亜鉛引鉄、塩ビライニング鉄、ステンレス、ポリエチレン、 その他 ()				
施設の利用状況	水源 (水道事業者名)	滅菌設備	使用水量	水質検査器具	
		有・無	立方メートル/月	有 () 無	

(添付書類)

設備の配置図及び給水設備の系統図

記入上の注意事項

1 届出者

当該簡易専用水道の設置者又は維持管理に関する権限を与えられている者を記入すること。

2 建物の名称

〇〇マンション×号棟、△△小学校本館、××会社〇〇工場等建物の名称を記入すること。

3 設置年月日

水道事業者から浄水を受水して簡易専用水道施設を使用開始する年月日を記入すること。

4 主用途

共同住宅、学校、工場等主な用途を記入すること。

5 設置者（所有者）

簡易専用水道施設を設置（又は所有）している者（2名以上の者が共同して簡易専用水道を設置している場合はその代表者を記入すること。

なお、届出者と同一の場合は、「届出者と同一」と記入すること。

6 管理者

当該簡易専用水道の全部の管理を任されている者（業者に管理委託している場合は委託業者名）を記入すること。

なお、届出者又は設置者（所有者）と同一の場合は、「届出者（又は設置者（所有者））と同一」と記入すること。

7 給水設備

(1) 受水槽とは、加圧及び貯水の目的で水道管より受水する水槽をいう。

(2) 高置水槽とは、配水量や水圧を調節するために建物の屋上等に設けられる水槽をいう。

(3) 副受水槽、圧力水槽等があれば空欄に記入すること。

(4) 設置場所欄については、屋外、屋内(地上、地下○階)等水槽の設置場所を記入すること。

(5) 設置状態欄には、外面を点検できる構造ならば床置き式と、水槽が地下に埋め込まれていたり、建物の壁や床を水槽の外壁としていて外面を点検できない構造である場合は、その設置状態を記入すること。

(6) 水槽の数、容量欄において、容量は、水槽において適正に利用可能な容量をいい、水の最高水位と最低水位との間に貯留される容量をいう。

(7) 材質欄には、コンクリート、鉄、合成樹脂、ステンレス等材質の種類を記入すること。

8 給水管の材質

該当するものを○で囲むこと。該当がない場合はその他に記入すること。

9 施設の利用状況

(1) 水源（水道業者名）欄には、〇〇市水道事業等と記入すること。

(2) 滅菌設置欄については、水道水の再滅菌（消毒）のための設備の有無について○で囲むこと。

(3) 使用水量欄には、1か月の平均予定使用水量を記入すること。

(4) 水質検査器具欄については、残留塩素、色度、濁度、pH等の測定器の有無を○で囲むこととし、有の場合は測定器具を記入すること。

簡易専用水道届出事項変更届

年 月 日

(宛先) 小牧市長

(届出者) 住 所.....

氏 名.....

〔 法人にあつては、その主たる事務所の
所在地、名称及び代表者氏名
電話番号..... 〕

次のとおり、簡易専用水道の届出事項に変更がありましたので、届け出ます。

1	建物の名称		
2	建物所在地	(電話番号)	
3	変更事項	変更前	
		変更後	
4	変更年月日	年 月 日	
5	変更理由		

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

様式第3 (第3条関係)

簡易専用水道 (廃止・休止・再開) 届

年 月 日

(宛先) 小牧市長

(届出者) 住 所.....

氏 名.....

〔 法人にあつては、その主たる事務所の
所在地、名称及び代表者氏名 〕

電話番号.....

下記のとおり、簡易専用水道を (廃止 休止 再開) します。

1	施設の建物名称	
2	建物所在地	(電話番号)
3	年月日	年 月 日
4	理由	

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。